

5 重点プロジェクト

（1）重点プロジェクトの意義

人口ビジョン編には、本市の将来展望として、できるだけ早く社会の若返りを図り、地域の活力を維持、向上させていくため、

- 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえていく
- 若い世代の進学や就職を地元に向けていく
- 大都市圏で活躍する高度人材の軸足を本市に移していく

といった取組を、地域の多様な主体と連携して推進することとしている。

そこで、本市では、平成 72 年（2060 年）の将来推計人口モデルを踏まえ、短期的な取組となる総合戦略の実効性を高めていくには、選択と集中の観点から、限られた経営資源を重点的に投資し、地域資源を有効に活用することで、人口減少のスピードを抑え、地域経済の持続的な発展を図ることが重要になるため、重点プロジェクトを設定し、複数の重点項目に寄与する取組として重要施策を構成する。

また、重点プロジェクトの展開に当たっては、「ひとに優しく、癒しのある豊かな地域社会」の実現を目指して、地元を誇りや愛着を持ち、生活の質を向上させる観点から、『生む』『つなぐ』『稼ぐ』といった視点をもって、重要施策を強力に推進し、本市の産業や地域振興を図っていく。

（2）重点プロジェクトの設定

本市には、一定の都市機能が集積しており、職住近接をはじめとして、豊かな食材や食文化に恵まれ、ゴルフやマリンスポーツ等の自然を生かした余暇が充実しているなど、大都市圏にはない豊かさや様々な魅力がある。

また、人口減少が進展する中で、地域経済を持続可能なものとしていくには、地域への愛着や関心を高め、若い世代の定着や流入を促進し、労働の生産性を向上させていく必要がある。

そこで、重点プロジェクトの重要施策の取組に当たっては、本市の強みである「食」「スポーツ」「神話」「花」を生かして、地域の多様な主体と連携しながら、本市への新しいひとの流れをつくるとともに、地域の多様性を生かし、様々なコミュニティが有機的に結びつき、自立性の高い地域社会を形成するなど、産業の稼ぐ力を高め、地域の総合力を引き出す取組を推進していく。

1

クリエイティブシティ推進プロジェクト

地域に新たな雇用やビジネスを創出するとともに、多様な働き方や雇用環境の改善を促すことで、人材の定着を図り、地域経済の活性化につなげていく。

重要施策1 地元との連携による人材の定着と流入の促進

地元企業等の雇用環境の見える化を推進し、多様な手段による情報発信を行うほか、教育機関や地元企業等との連携により、地域や企業ニーズに合った人材の育成、企業の経営者の経営能力や従業員のスキルの向上を図るとともに、外部からの人材登用を促進する。

重要施策2 地元産業の成長と新たな市場開拓につながる創業の支援

高い収益力を持つ中核企業の経営を強化し、中小企業等の生産性の向上や円滑な事業承継を促進することで、労働力を確保するとともに、新たな市場の開拓に目を向けた創業を支援する。

重要施策3 中心市街地における雇用と価値の創出

中心市街地における遊休不動産の利活用を推進し、ICT¹関連企業等の立地やベンチャー²の起業などを促進することで、多様な雇用やにぎわいを創出するとともに、保育機能の充実などにより、中心市街地の価値を高め、効果的に情報を発信することで、民間投資の誘発を図る。

2

フードシティ推進プロジェクト

基幹産業である農業の生産基盤を維持するとともに、豊かで良質な農産物を生かしたフードビジネスを推進し、販路や交流人口の拡大を図ることで、ブランド力を向上させていく。

重要施策1 新規就農者の育成と定着の促進

新規就農に向けた情報発信を強化し、農業後継者を含む新規就農者を育成するとともに、多様な営農形態を確立することで、新規就農者の早期の経営安定化や定着を図る。

重要施策2 農業の生産性の向上

農業生産において、ICT技術を活用し、省力化や生産性の向上を図るとともに、遊休農地を有効に活用し、農地の集約や大規模化を図る。

重要施策3 食を生かした取組による販路と交流人口の拡大

豊富な農林水産物を生かし、異業種間の連携を強化することで、消費者ニーズに合った商品等を開発するなど、更なるブランド化を推進するとともに、物流体制を確保し、農林水産物や加工品の競争力を向上させるなど、食を生かした取組を推進することで、国内外への販路や交流人口の拡大を図る。

¹ Information and Communication Technology（情報通信技術）の略。

² 独自の技術や製品の開発を新規事業として、新たに企業を設立したり、社内に新規事業部門を立ち上げたりすること。

3

観光地域づくり推進プロジェクト

観光資源を磨き上げ、観光ルートの形成や受入体制の充実を図ることで、広域的な観光地域づくりを推進するとともに、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催等を見据え、プロスポーツキャンプ・大会等の受け皿となるインフラ³や受け入れのノウハウ等を生かし、新たなファンの獲得に向けて、総合スポーツ戦略都市みやぎの取組を推進していく。

重要施策1 観光資源のブランド化の推進

観光地「青島」の素材を磨き上げ、「ーツ葉」地域における観光資源を結びつけるとともに、「ニシタチ⁴」との回遊性を確保することで、ブランドイメージを高め、交流人口の拡大と滞在性の向上を図る。

重要施策2 新たなファンの獲得に向けた連携や交流の推進

広域的な観光地域づくりに向けて、地域資源を生かしたツーリズム⁵を創出し、観光資源のブラッシュアップを図るとともに、観光地や宿泊施設等での観光客の利便性を高めるなど、受入環境を向上させ、効果的に情報を発信することで、新たな観光産業や交流を生む基盤づくりを推進する。

重要施策3 総合スポーツ戦略都市みやぎの取組の推進

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催等を見据え、スポーツキャンプや合宿、大会等の誘致を図るとともに、認知度のあるプロスポーツキャンプ等を生かして、誘客効果の高い取組を推進する。

4

IJU（移住）推進プロジェクト

関係機関や関係団体との連携による住まいや就業等に関する移住相談への対応のほか、移住者のフォローアップを行うとともに、空き家等の既存ストック⁶の流通を促進するなど、地域振興等と連携した取組を推進していく。

重要施策1 移住ネットワークの構築と移住者の定着の支援

雇用や生活に係る官民のネットワークを構築することで、大都市圏からの人材の流入を図り、地域の魅力発信や移住希望者のニーズに合ったサービスを提供するとともに、移住者のフォローアップ等を行い、移住者の定着につなげる。

重要施策2 既存ストックの流通の促進

関係団体等と連携して、空き家物件の情報収集を行うとともに、効果的に情報を発信することで、既存ストックの流通を促進し、良好な住環境を確保する。

³ infrastructure（インフラストラクチャー）の略。社会基盤となる施設等。

⁴ 西橋通りのほか、中央通りや西銀座通りなどを含めた繁華街全体の通称。

⁵ 自然や歴史、食、スポーツ等を見たり、食べたり、体験したりすること。

⁶ これまでに蓄積されている資源（在庫）。

複雑・多様化する地域課題の解決に向け、地域の多様な主体の連携を強化し、地域や住民ニーズに合った公共サービスの提供につなげるとともに、地域課題をビジネスの手法等を用いて解決する中で、地域の多様な主体が公共の担い手になるなど、自主的、かつ持続的に事業を進めることで、自立性の高いコミュニティを形成していく。

重要施策 1 多様な主体による公共サービスの提供

地域活動や市民活動をコーディネートする人材を育成するとともに、地域資源を有効に活用し、ソーシャルビジネス⁷やコミュニティビジネス⁸等の視点を含めた活動を推進することで、地域や住民ニーズに合った公共サービスを確保する。

重要施策 2 自立性の高いまちづくりの推進

高齢者等の地域や社会活動への参加を促進し、地域における多様なコミュニティの創出を図るとともに、地域住民の交流や地域の多様な主体の活動拠点となるコミュニティ施設等を適切に運営することで、持続的で、自立性の高いコミュニティを形成する。

⁷ 社会的課題を解決するため、ビジネスの手法を活用して取り組むこと。

⁸ 地域課題を解決するために、地域が主体となって、ビジネスの手法を活用して取り組むこと。